

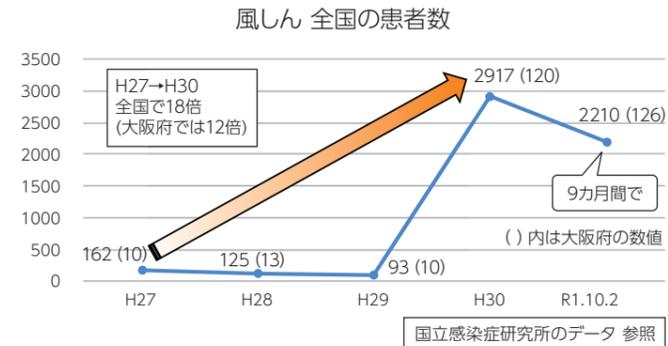
昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性の皆さんへ

あなたのために  
子どものために

## 風しん予防を

### 忍び寄る風しんの脅威

風しんは非常に感染力が強く、今年も昨年引き続き流行中です。平成30年の1年間で約29000件、令和元年は10月時点で約22000件の報告があり、この2年間でこれまでの10倍以上の患者数となります。



### 風しんにかかると

風しんは子どもがかかると病気が重くなる場合があります。風しんは大人でもかかると発熱や発疹、リンパ節の腫れなどの症状が現れます。症状は子どもでは比較的軽いのですが、まれに脳炎、血小板減少性紫斑病などの合併症が、2千人〜5千人に1人くらいの割合で発生することがあります。

また、大人が感染すると子どもに比べ症状が重く、特に妊娠初期の妊婦さんが感染すると、生まれてくる赤ちゃんの目や耳、心臓に影響を与え、障がいが生じることがあります。

### 予防するには

風しんを予防するには、予防接種を受けて抗体(免疫)を得ておくことが最も効果的です。また、抗体を持つ人が増えることで風しんの流行が減少するといわれています。



## 風しんの流行をストップ



### 風しん抗体検査・予防接種

令和元年度より3年間に限り、全国的な風しん対策として、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性を対象とした風しん抗体検査および予防接種事業を公的実施しています。

市では、6月に対象(注1)となる人へ風しん抗体検査・予防接種に関する案内とクーポン券(注2)を郵送しました。

この機会に抗体検査を受け、抗体検査結果で予防接種が必要と判断された場合は、必ず予防接種を受けてください。詳しくは下図のフローチャートを参照してください。

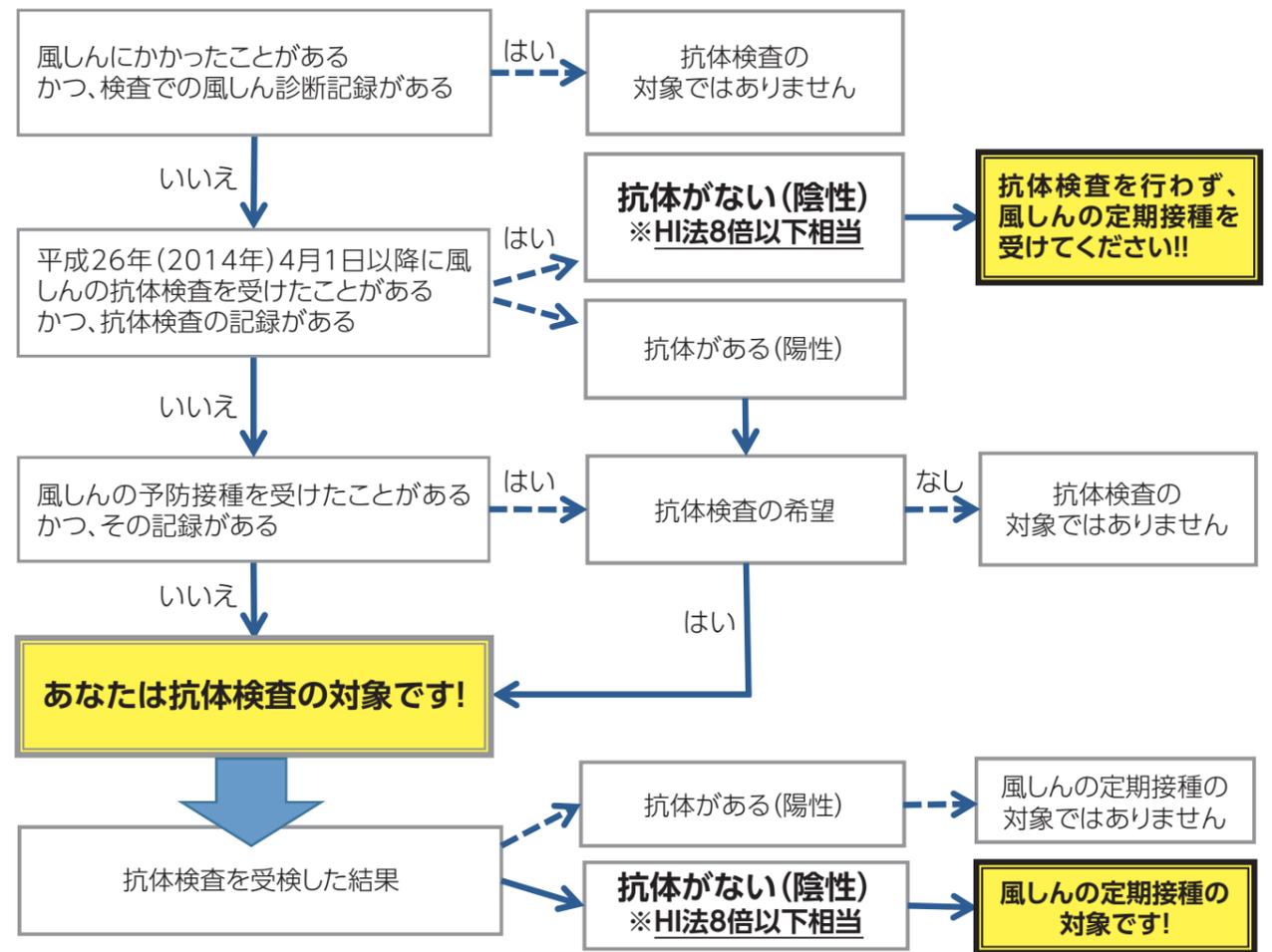
(注1)対象者のうち昭和47年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた人に送付しました。

(注2)抗体検査と予防接種には「クーポン券」が必要になります。

場 全国の委託医療機関

料 無料

注 昭和37年4月2日から昭和47年4月1日までに生まれた人については、別途クーポン券を郵送しますので、まずは電話で問い合わせください。詳細は市ホームページをご覧ください。



※HI法8倍以下相当の詳細は、市ホームページ参照

### 風疹をなくそうの会『hand in hand』の大畑さんに風しんや活動について伺いました。

#### 活動のきっかけについて教えてください。

母親が妊娠中に風しんにかかると、子どもが先天性風しん症候群の難聴になることがあります。そうすると、生むまでの葛藤、生まれてからの我が子への申し訳ない思いが続くとともに、我が子の不自由さも一生続くこととなります。一人でも多くの人に風しんの怖さとワクチン接種で予防できることを知ってほしいという強い思いから活動しています。

#### 成人男性を対象とした風しん抗体検査と予防接種の取り組みに対するメッセージをお願いします。

昨年から風しん感染件数の増加により、すでに先天性風しん症候群として生まれたお子さんが4件報告されています。今回対象の成人男性の皆さん、国からクーポンが準備されていますので、「家族を守る、自分を守る」ためにぜひ受けていただければと思います。



風疹をなくそうの会『hand in hand』大畑茂子氏

### 年代別で見る風しんの予防接種制度の変遷

性別	1歳	20歳	30歳	40歳	50歳
男性	1回個別接種	2回個別接種(平成2年4月2日生以降)	幼児期に1回個別接種	中学生の時に1回個別接種	1回も接種していない 中学生の時に1回集団接種
女性	1回個別接種	2回個別接種(平成2年4月2日生以降)	幼児期に1回個別接種	中学生の時に1回個別接種	1回も接種していない

※2019年3月時点

1歳: 小学校就学前(年長児)

20歳: 昭和54年(1979年)4月1日生

40歳: 昭和37年(1962年)4月2日生

予防接種の接種機会  
予防接種制度の変遷のため、現在の年齢によって予防接種を受けたタイミングや回数異なります。その中でも、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性の皆さんは公的な風しん予防接種の機会がなく、他の年代の人に比べて抗体を獲得している人の割合が少ないため、感染のリスクが高く、かかると家族や身近な人にも感染させてしまう可能性があります。